

滋賀県堅田看護専門学校
平成30年度 学校評価報告書

滋賀県堅田看護専門学校の学校関係者評価委員会規定に基づき、平成30年度の学校評価を実施したので、報告します。

1 自己評価の実施

日時	職員の実施	平成30年12月17日から12月28日		
		実施した職員数	17名	
	学生の実施	平成30年12月10日から12月21日		
		実施した学生数	1年次生 45名	
			2年次生 43名	
			3年次生 45名	計133名

2 学校関係者評価委員会の実施

日時 平成31年3月28日(木) 15:00~16:00

場所 滋賀県堅田看護専門学校 会議室

評価委員

○学校運営、学生の育成に関わりがある者(運営委員会構成員)

森田 豊 氏 公益社団法人滋賀県私立病院協会 副会長
医療法人マキノ病院 理事長・院長

橋本 勲 氏 公益社団法人滋賀県私立病院協会 事務長部会長
山田整形外科病院 事務長

○実践的かつ専門的な職業教育に関する理解及び識見を有する者(実習施設関係者)

小谷 清美 氏 高島市民病院 看護部長

西村 宏美 氏 琵琶湖大橋病院 看護部長

○卒業生代表(卒業生代表)

比嘉 絵里香氏 滋賀県堅田看護専門学校同窓会長
医療法人幸生会 琵琶湖中央病院 看護課長

○教育に関する理解及び識見を有する者(外部講師)

鈴木 竜雄 氏 滋賀県堅田看護専門学校非常勤講師
立命館大学・大阪経済大学はじめ多数の教育機関の講師

飯田 香織 氏 滋賀県堅田看護専門学校非常勤講師
滋賀県教育委員会 スクールカウンセラー

3 本学の教育理念・教育目的

(1) 教育理念

看護は、生命の尊重と人間愛を基盤に成立するものである。そして看護の目的は、健康・不健康を問わず、人間個々がよりよい健康生活を送れるように援助することである。その看護活動は人間関係を基盤にし、あらゆる健康の段階にある対象の問題解決を図ることにある。そのための基礎的知識・技術・態度を習得し、生涯学習の可能な看護の実践者を育成することが本校の教育理念である。

従って、基本方針は、青年期にある看護学生がその成長発達過程を達成できるよう、教育的に関わることである。そうして深く人間性に根ざした看護観を持ち、主体的かつ自主的に努力と課題達成にむけて生きていけるよう、その関係性を重視した教育実践を行う。

(2) 教育目的

人間尊重の精神を教育理念の基調とし、学校教育法及び保健師助産師看護師法に基づき、看護師として必要な知識及び技術を教授し、広く社会に貢献できる有能な人材を育成する。

(3) 教育目標

- (1) 人間を尊重し、感性豊かな人間性を養う。
- (2) 看護の対象である人間を理解するために科学的根拠に基づいた看護が実践できる基礎的能力を身につけることができる。
- (3) 保健医療福祉チームの一員として看護の役割を認識し看護を実践することができ、調整者としてチームの連携を考えることができる。
- (4) 専門職業人としての自覚をもち、主体的に学習に取り組み、自己啓発に努め看護を探究する態度を身につけることができる。

4 平成30年度 事業計画に定めた重点的に取り組むとした事業計画の概要

1. 地域医療に貢献できる学生の確保
2. 看護師国家試験合格率の向上をはかる
3. 教育内容・教育方法の充実をはかる
4. 円滑な学校運営に努める

5 全体評価

全体的におおむね健全な学校運営がなされていると考える。

評価項目で見ると、職員評価では、「8. 研究」、「4. 経営・管理・運営」、「7. 地域社会」が低評価であり、学生評価は、相対的に高評価である。

当校の教員は年間を通じて臨地実習指導のため、県内各地に分散する実習施設に出張しているため、在校時間が少ない傾向にあり、自己研鑽はじめ教員間の情報共有や意志統一を図る機会の確保が困難な状況にあることから、教育の一貫性や効果的な教育活動を行うための強靱な協力体制が必要と思われる。

日々の教育活動においては、常に問題意識を持って取り組む姿勢と資質向上に向けた研究活動が行えるよう時間管理の徹底を図る必要があると考える。

全体的には、職員、学生共に、情報提供と共有、コミュニケーションの充実が必要であり、自己評価結果、関係者評価委員各位の意見に留意して、職員一丸となって更なる充実した学校となるよう、取り組みを進めて頂きたい。

6 各項目の学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
1. 教育理念・教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の卒業生は県下病院において広く活躍しており、管理的職種にも多数登用されている実績からも、生涯学習の可能な看護の実践者を育成するとした人間尊重の精神を教育理念とし、広く社会に貢献できる有能な人材を育成する教育目標は、本校の教育によく活かされていると考えられる。 ・本校の卒業生は、現場での評価も高く、即戦力として期待できる。教育理念、目標が適切と考える。
2. 教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、教育目標を網羅した実現可能な教育目標を設定し、概ね実践できていると評価できる。
3. 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が教育理念、教育目標を基調とし、本校全体として一貫性をもった指導が求められている。教育目標の共有と浸透、ベテラン教員の育成により教員間の指導観のずれがなくなってきたと感じている。 ・教員とのコミュニケーション不足が懸念された時期もあったが、教員と学生との関係は良くなっていると聞く。 ・実習指導は実習施設の指導者にある程度、任せることも必要。学生が教員に依存し過ぎているのではと、逆に懸念している。 ・学生評価は学年による差異があるのではないかと。学年別に評価をすることも有用ではと思われる。 ・学生支援として心理療法カウンセラーを配置しているが、利用低迷気味であり、多方面の利活用を図りたい。 ・メンタル関係の面談や指導はタイムリーに行う必要がある。体制の充実をお願いする ・成績不振が続く修業年限が3年以上の学生がいる。更に学習方法などの個別指導に努めていただきたい。
4. 経営・管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学生と職員の評価に隔たりがある。職員評価が低位であり、職員間の意思疎通が十分でないのではと考えられる。更なる情報開示に努めて頂きたい。 ・教育施設、設備について、計画的な整備と設備投資に努めて頂きたい。
5. 入学	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、大学志向から高卒受験者の減少が見られ、会員病院の紹介による社会人受験者も底をつく感があるが、新卒者、社会人の募集に更に努力する必要がある。
6. 卒業・就職	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の就職先はほとんどが県内病院、私立病院への入職が大半であることから、本校の目的は達成できていると考える。 ・協力病院事務長会議、看護部長懇談会、会員病院訪問など通じて得た情報を教育活動の改善に活かされている。 ・卒業生交流会の開催など今後も継続され、卒業生支援の充実を願う。
7. 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、学校祭（聖湖祭）には多くの地域住民が来校され、地域への学校公開と学生交流を実施している。 ・公益法人立の看護専門学校として、近隣地域の要請に応じて防災訓練時に緊急措置の実技指導に講師を派遣するなど貢献している。
9. 研究	<ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習施設が遠方であることや実習指導をはじめ、学生指導に多くの時間を要し時間の確保が困難な状況にある。時間の制約であきらめず日々の実践の中に問題意識を持ち取り組む努力を継続したい。

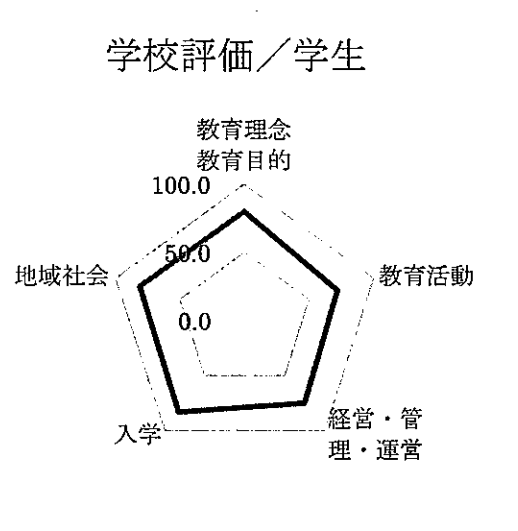
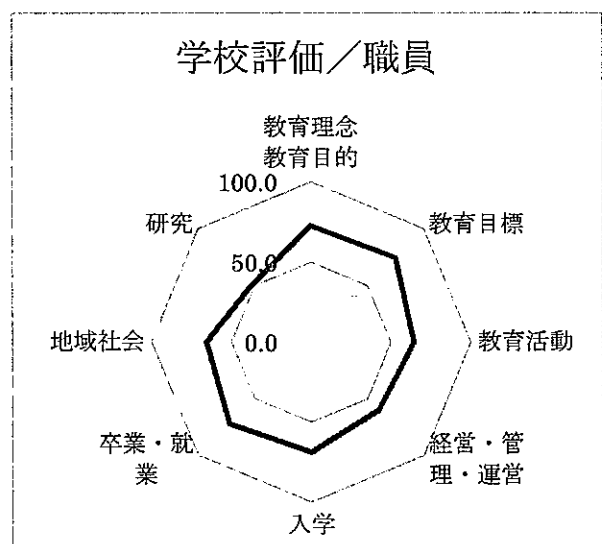
滋賀県堅田看護専門学校
平成30年度 自己評価結果について

評価実施日	平成30年12月			
評価者	職員	17名		計 133名
	学生	1年次	45名	
		2年次	43名	
	3年次	45名		

滋賀県堅田看護専門学校では、学校活動全般について自己改革を行うとともに、教育の質の向上を図り、もって学校における設置目的を達成するために、自己点検・自己評価を実施しています。

このたびの自己点検・自己評価は、全教職員、全学生を対象とし、下記の項目について「該当する」「やや該当する」「やや該当しない」「当てはまらない」の4段階評価で、平成30年12月に実施しました。

この評価結果をもとに改善点を明確にし、日々教育活動の質の向上をめざして魅力ある学校づくりに取り組んでまいります。



平成30年度 自己評価(職員)

評価項目	平成30年度
	評価得点率 (%)
1. 教育理念、教育目的	
1)本校の特徴を示しているか	72.5
2)学生にとって、学習の指針となっているか	
3)卒業時に期待される学生像が明確に示されているか	
4)教育内容、教育方法が述べられているか	
5)教員にとって、教育の指針となっているか	
2. 教育目標	
1)教育理念、教育目的と教育目標が一貫しているか	74.5
2)設定した教育内容を網羅しているか	
3)実現可能な目標として設定されているか	
4)看護実践者および学習者としての成長を促すものであるか	
5)卒業後の継続教育の考え方を示しているか	
3. 教育活動	
1)教職員は教育理念、教育目的に向けて、一貫した活動をしているか	64.3
2)カリキュラムは教育目標に基づいて編成されているか	
3)科目と単元は教育目標を到達するために必要な内容と配列になっているか	
4)単位履修の方法とその制約が明確に示されているか	
5)単位認定の基準は明確になっているか	
6)成績の評価方法は妥当であるか	
7)学生が学習するにあたっての施設・設備が整っているか	
8)教育目標に準じた授業をおこなうことができる教員を確保しているか	
9)教員の担当科目は専門性を発揮できるものであるか	
10)教員が授業の準備をする時間が取れる体制を整えているか	
11)授業間の内容において、整合性や発展性が明確になっているか	
12)授業を展開するための計画を立案し、実践しているか	
13)効果的な教育指導をおこなうために、教員間の協力体制が明確になっているか	
14)授業の評価をおこない、その結果に基づいて、授業を改善しているか	
15)学生への指導は、本校全体として、一貫性を持っているか	
16)教員が自己・相互研鑽できるシステムを整えているか	
17)臨地実習施設は、本校の教育理念・目的・目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	
18)臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えているか	
19)学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示し、学生を計画的に指導しているか	
4. 経営・管理・運営	
1)学校の設置目的は明示されているか	
2)教職員は学校の設置目的を理解しているか	
3)組織体制において、意思決定システムが明確になっているか	

4)組織における意思決定は組織構成員に周知されているか	
5)組織構成員の意思・意見は、組織における意思決定に反映されているか	
6)教育理念、教育目的に沿った組織の構成、教職員の任用がなされているか	
7)教育理念、教育目的に沿った教職員の資質向上についての考え方と対策がなされているか	
8)学校の財政基盤を確保するための考え方と対策が明確になっているか	
9)学校の財政は学習および教育の質の維持・向上につながっているか	
10)教職員は学校の財政基盤の成り立ちを理解しているか	
11)教職員からの財政についての意見が反映されているか	
12)学習および教育環境の整備について、管理者の考え方と対策が明確になっているか	
13)学習および教育に必要な施設・設備を計画的に整備しているか	
14)学生が学生生活を送るにあたっての福利厚生が整備されているか	59.9
15)教職員が職務を円滑に遂行できるための福利厚生が整備されているか	
16)退学、休学を低減するための支援がおこなわれているか	
17)学生からの相談に関する支援体制は整備されているか	
18)学生の経済的な側面に対する支援体制は整備されているか	
19)学習および教育活動の関係者への情報提供をおこない、その協力や支援を得ているか	
20)看護師を養成する機関として、その存在を十分に広報できているか	
21)運営における将来構想と中・長期および短期計画とが明示されているか	
22)中・長期および短期計画に基づいた学校運営がなされているか	
23)法令や設置基準等を遵守し、適正な運営がなされているか	
24)個人情報保護するための対策がとられているか	
25)定められた諸規則が遵守され、運用されているか	
26)教育活動に関する情報公開が適切になされているか	
5. 入学	
1)入学者を選抜するにあたっての考え方は教育理念との整合性をもっているか	
2)入学者の選抜するにあたって、公平性は保たれているか	
3)入学者の状況と推移に対して、入学者の選抜方法は妥当であるか	68.8
4)学生募集活動は適正におこなわれているか	
5)学生募集に関する広報活動が計画的におこなわれているか	
6. 卒業・就業	
1)卒業時の到達状況がとらえられているか	
2)卒業生およびその就職先と情報交換し、教育活動の改善につなげられているか	72.3
3)卒業生の就職先との連携を図り、卒業後を見据えた支援がおこなえているか	
4)卒業生への支援体制は整えられているか	
7. 地域社会	
1)学校の教育資源や施設・設備を活用した、社会および地域貢献をおこなっているか	65.6
2)学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
8. 研究	
1)教員の研究活動を保障しているか	
2)教員の研究活動を支援する体制が整えられているか	51.6
3)先端的な知識や技能の習得など、教員が資質を向上させるための取り組みがなされているか	

平成30年度 自己評価(学生)

評価項目	平成30年度 評価得点率 (%)
1. 教育理念、教育目的	
1) 学生にとって、学習の指針となっているか	80.0
2. 教育活動	
1) 教職員は教育理念、教育目的に向けて、一貫した活動をしているか	72.0
2) カリキュラムは教育目標に基づいて編成されているか	
3) 単位履修の方法とその制約が明確に示されているか	
4) 単位認定の基準は明確になっているか	
5) 成績の評価方法は妥当であるか	
6) 学生が学習するにあたっての施設・設備が整っているか	
7) 効果的な教育指導をおこなうために、教員間の協力体制が明確になっているか	
8) 授業の評価をおこない、その結果に基づいて、授業を改善しているか	
9) 学生への指導は、本校全体として、一貫性を持っているか	
10) 臨地実習施設は、本校の教育理念・目的・目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	
11) 臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えているか	
12) 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示し、学生を計画的に指導しているか	
3. 経営・管理・運営	
1) 学校の設置目的は明示されているか	75.0
2) 学習および教育に必要な施設・設備を計画的に整備しているか	
3) 学生が学生生活を送るにあたっての福利厚生が整備されているか	
4) 退学、休学を低減するための支援がおこなわれているか	
5) 学生からの相談に関する支援体制は整備されているか	
6) 学生の経済的な側面に対する支援体制は整備されているか	
7) 学習および教育活動の関係者への情報提供をおこない、その協力や支援を得ているか	
8) 看護師を養成する機関として、その存在を十分に広報できているか	
9) 個人情報を保護するための対策がとられているか	
10) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	
4. 入学	
4) 学生募集活動は適正におこなわれているか	83.0
5. 地域社会	
1) 学校の教育資源や施設・設備を活用した、社会および地域貢献をおこなっているか	81.1
2) 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	